



カーリング施設のCUD化

本号ではウィンタースポーツの競技施設CUD化についてご紹介いたします。北海道の地域性に密着し、CUDを進める団体 NPO法人北海道カラーユニバーサルデザイン機構(北海道CUDO)から報告させていただきます。



施設外観

競技施設では全国で初めてCUDマークを取得したカーリング施設「どうぎんカーリングスタジアム」が9月15日(土)札幌市豊平区の月寒体育館隣にオープンしました。本施設の検証は北海道CUDOが行いました。

施設は2階建て、競技場は5シート(レーン)あり、観客席は208席に加え車いす席16席があります。サインデザインのコンセプトは「親近感」「優しさ」「温もり」。更衣室・トイレサインの材料



競技をおこなうカーリングホール

は道産材のセン、くるみ、ニレを使用しています。更衣室のサインはカーリング用具のブラシとストーンがモチーフになっており、CUDの考えをもとに色を選定し、色以外に形でも区別しています。また、色に限らず、サインの厚みを出し設置する場所を低くすることで、触れやすい距離感を作り親近感を演出することで車椅子の方や児童にも見やすいサインになっています。

(北海道CUDO事務局)



更衣室の男女のサイン



施設内に掲げられたCUDマーク